



中部電力

2020年度第3四半期 決算説明資料

2021年1月29日

	<スライド番号>
I 2020年度第3四半期 決算概要	
決算概要 1
セグメント別決算概要 4
発電電力量 8
（参考）期ずれ影響のイメージ（実績） 9
2020年度 業績見通しの概要10
II 参考データ：決算・財務関連	<スライド番号>
連結収支比較表12
連結財政状態の概要13
再生可能エネルギー-固定価格買取制度における収支影響14

I 2020年度第3四半期 決算概要

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を、「3Q」表記は4月から12月までの期間を指します。
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

〈決算のポイント〉（連結）

- 売上高：2兆1,125億円
新型コロナウイルス感染症の影響などによる販売電力量の減少(△1,096億円)や燃料費調整額の減少(△927億円)などから、前年同期に比べ1,681億円の減収
- 経常利益：1,914億円
販売電力量の減少など新型コロナウイルス感染症の影響(△270億円程度)はあったものの、期ずれ差益の拡大(+290億円[370億円→660億円])や電源調達コストの低減に努めたことなどから、前年同期に比べ261億円の増益
(参考) 期ずれを除いた経常利益：1,250億円程度

- ・ 売上高は、2016/3Q以来、4年ぶりの減収
- ・ 経常利益は、2019/3Qに続き、2年連続の増益
- ・ 2015/3Q以来、5年ぶりの減収増益

(億円,%)

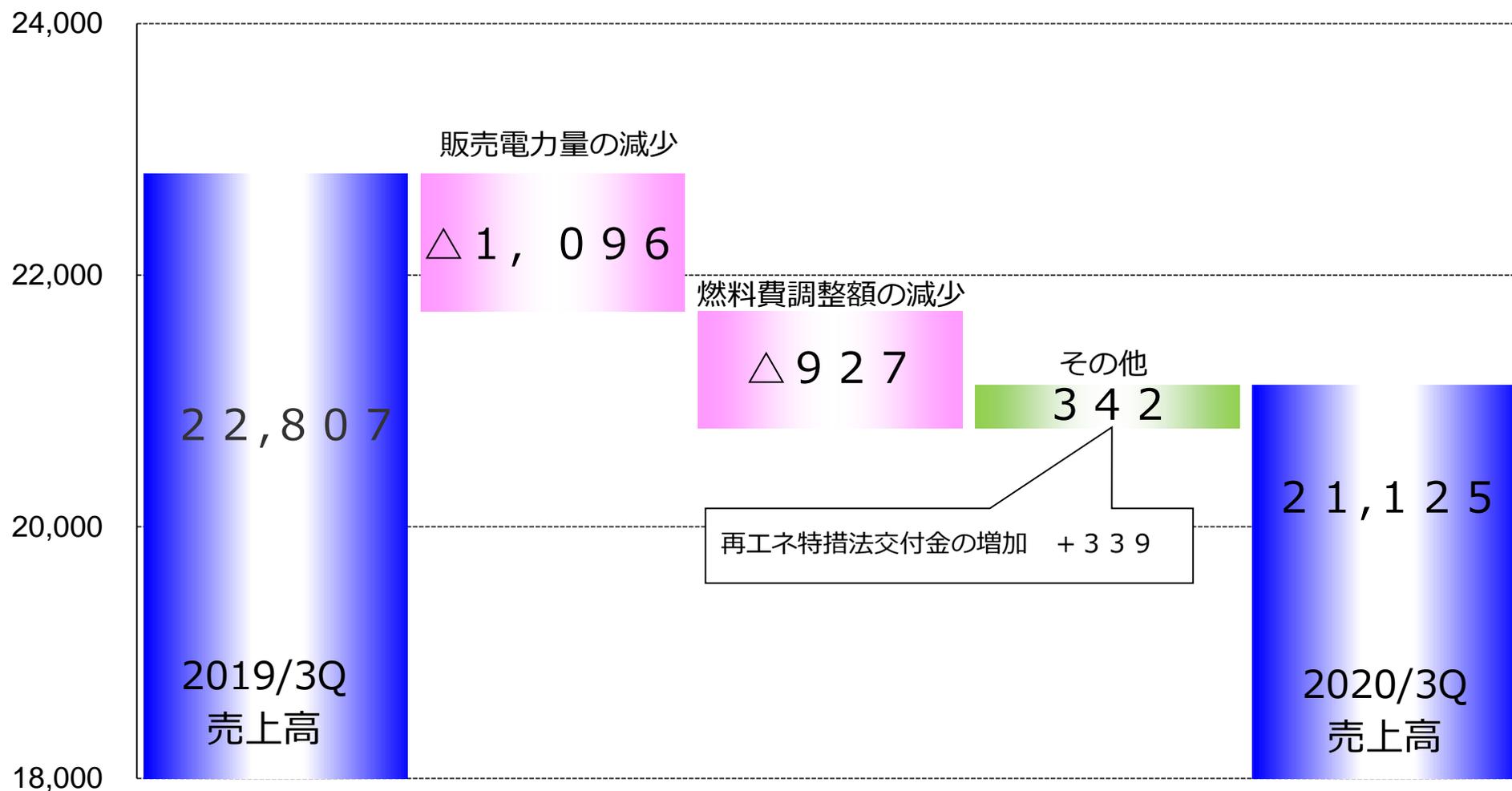
	2020/3Q (A)	2019/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	21,125	22,807	△1,681	△7.4
営業利益	1,120	1,035	85	8.3
経常利益	1,914	1,653	261	15.8
特別利益	—	190	△190	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,566	1,526	39	2.6

(注) 連結対象会社数 2020/3Q 連結子会社 38社(+2社) 持分法適用会社 48社(+8社) [() 内は前年同期差]

決算概要②

〈連結売上高の変動要因〉 (1,681億円の減収)

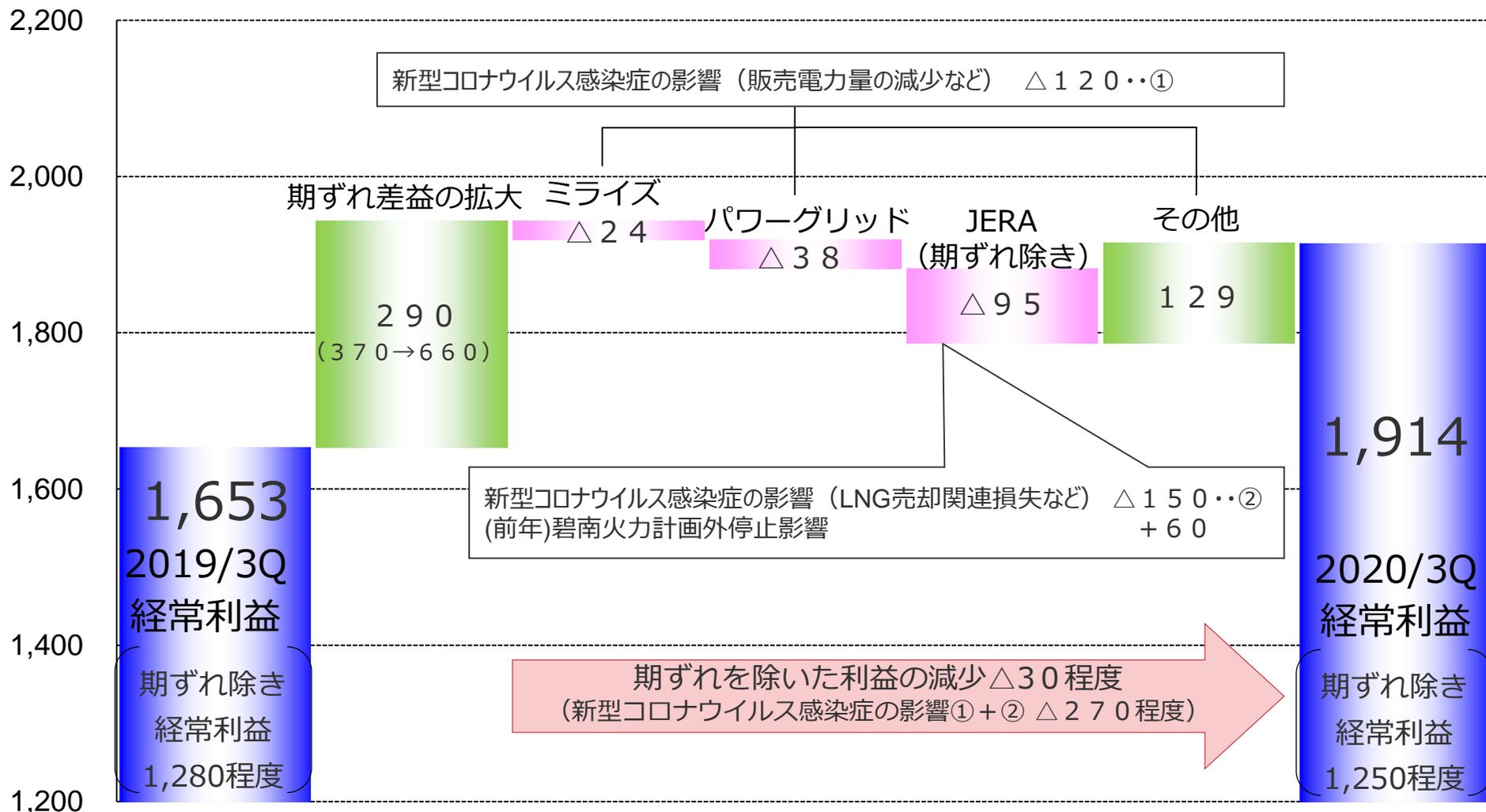
(単位：億円)



決算概要③

〈連結経常利益の変動要因〉 (261億円の増益)

(単位：億円)



セグメント別決算概要①

【売上高】

(億円,%)

	2020/3Q (A)	2019/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	17,708	19,980	△2,272	△11.4
パワーグリッド	5,502	5,519	△16	△0.3
その他(※1)	5,288	5,398	△110	△2.1
調整額	△7,373	△8,091	717	△8.9
合計	21,125	22,807	△1,681	△7.4

【経常損益】

(億円,%)

	2020/3Q (A)	2019/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	320	345	△24	△7.1
パワーグリッド	266	304	△38	△12.5
J E R A (※2)	886	691	194	28.2
その他(※1)	693	416	276	66.4
調整額	△251	△103	△147	142.2
合計	1,914	1,653	261	15.8

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。また、グループ会社のセグメント区分変更に伴い、2019年度第3四半期実績の組替えを実施しております。

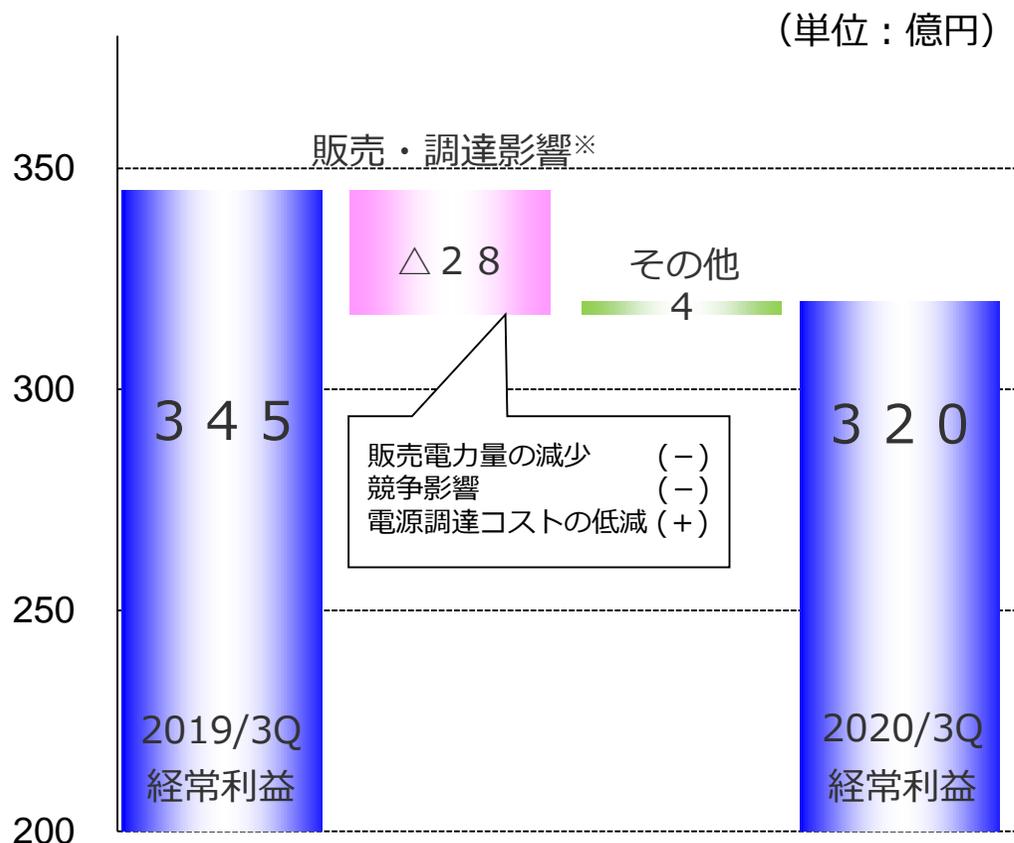
※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

※2 J E R A は、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

セグメント別決算概要②：ミライズ

〈経常利益の変動要因〉

- 電源調達コストの低減に努めたものの、新型コロナウイルス感染症の影響などによる販売電力量の減少や販売面での競争影響による収支悪化などから、前年同期に比べ 24億円の減益



※ 電灯電力料,他社販売電力料,再エネ特措法交付金
他社購入電力料,接続供給託送料,再エネ特措法納付金

(販売電力量)

(億kWh,%)

	'20/3Q (A)	'19/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	233	242	△9	△3.5
高圧・特別高圧	575	627	△52	△8.3
合計	808	869	△61	△7.0

[参考]

グループ合計の 販売電力量	853	909	△56	△6.1
他社販売電力量	67	79	△12	△15.0

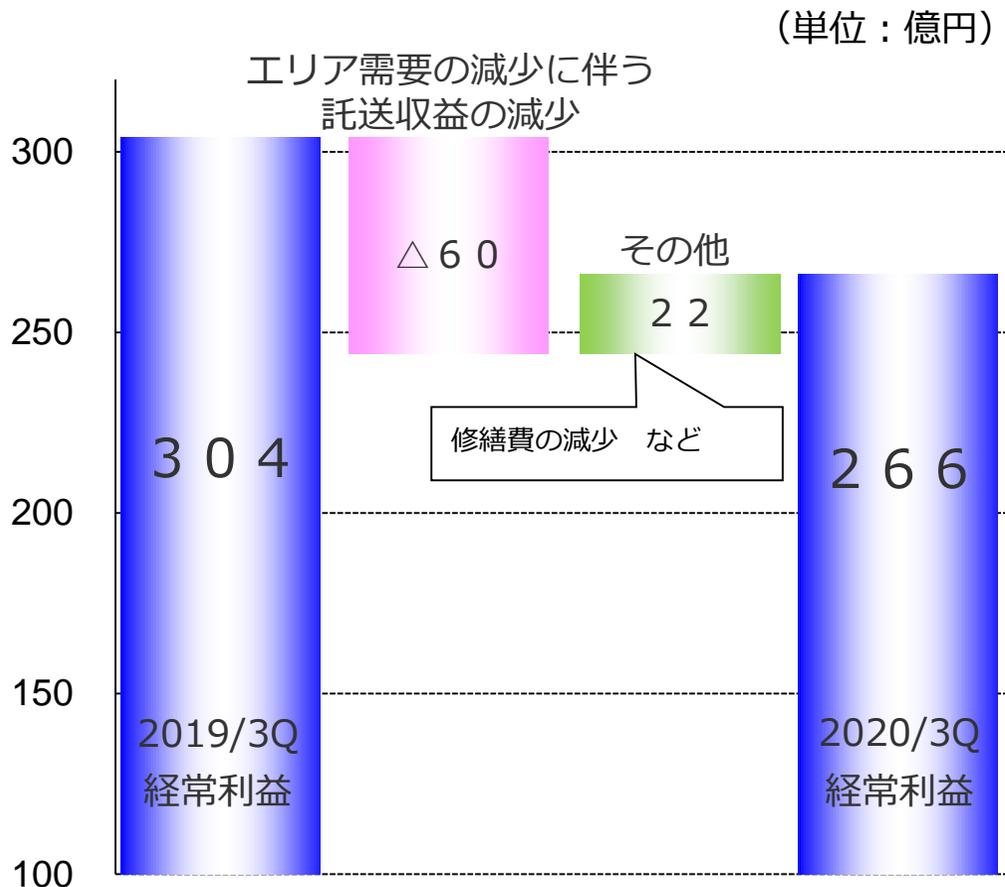
※ 2019年度第3四半期の販売電力量は販売カンパニーの実績を記載しております。

※ グループ合計の販売電力量は中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の実績を記載しております。

セグメント別決算概要③：パワーグリッド

〈経常利益の変動要因〉

- 修繕費の減少はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響によるエリア需要の減少などから、前年同期に比べ 38億円の減益



(エリア需要)

(億kWh,%)

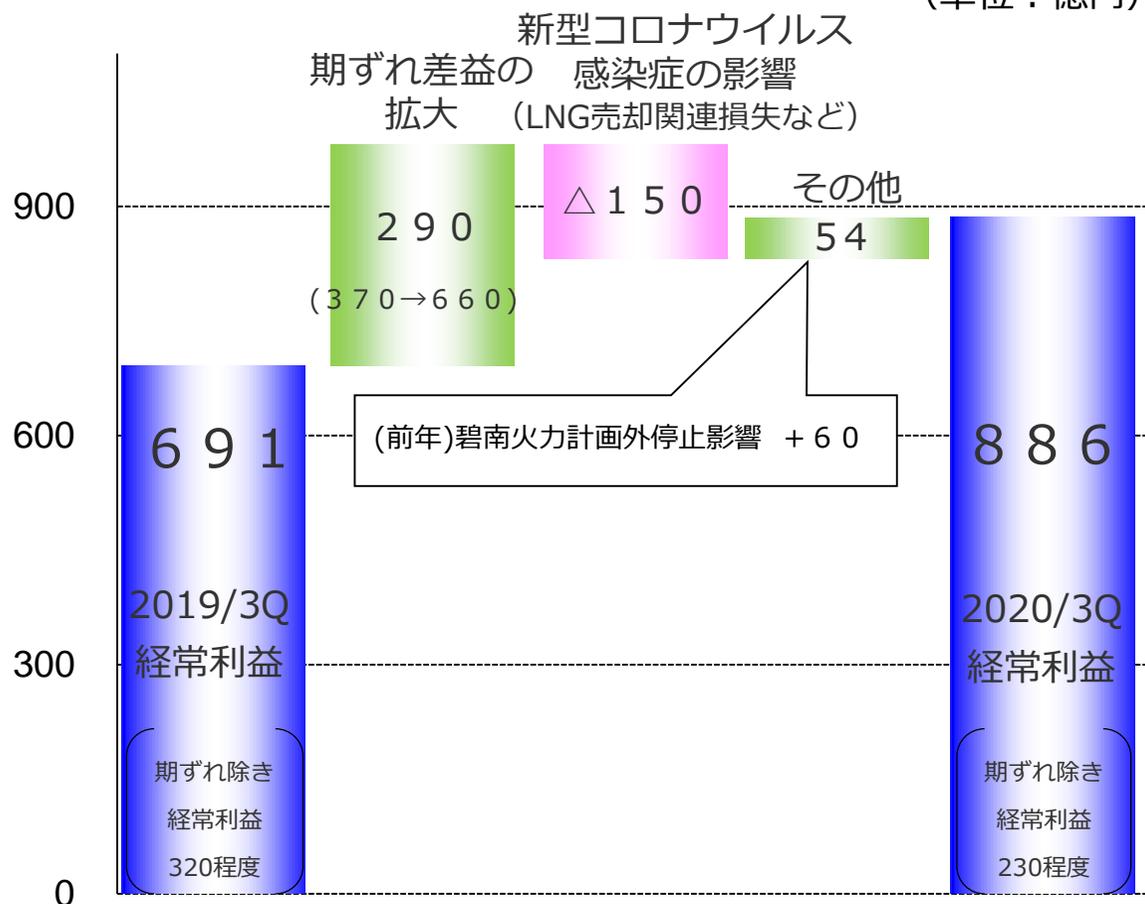
	'20/3Q (A)	'19/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
エリア需要	898	938	△40	△4.3

セグメント別決算概要④：J E R A

〈経常利益の変動要因〉

- 新型コロナウイルス感染症の影響などはあったものの、期ずれ差益の拡大などから、前年同期に比べ 194億円の増益

(単位：億円)



(CIF価格・為替レート)

	'20/3Q (A)	'19/3Q (B)	増減
			(A-B)
原油CIF価格 (\$/b)	39.0	67.8	△28.8
為替レート(円/\$)	106.1	108.7	△2.6

※2020/3Qの原油CIF価格は速報値

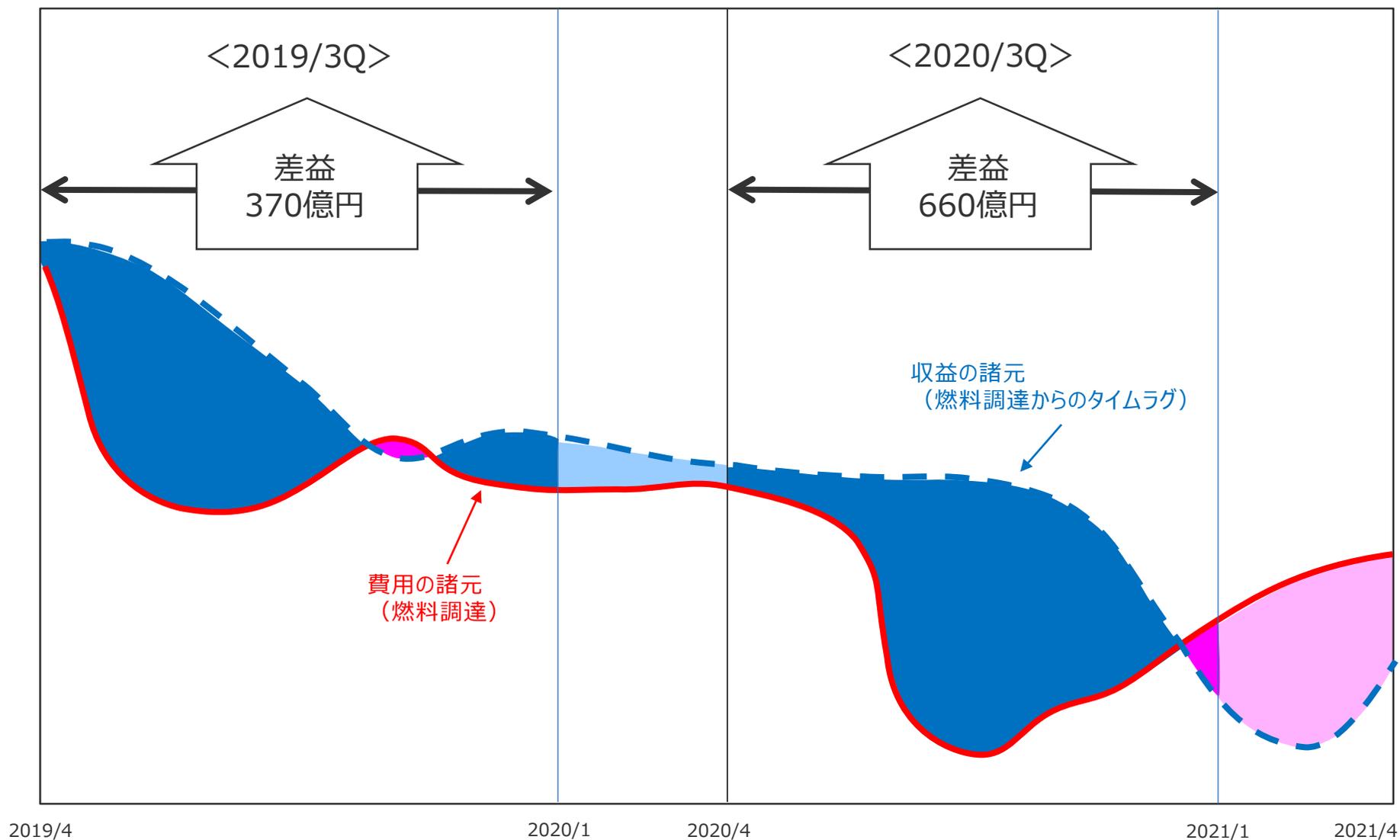
〈発電電力量〉（中部電力）

- **水力** 前年同期並み
- **新エネルギー** 四日市バイオマス発電所が運開したことなどから、3億kWh増加

(億kWh,%)

	2020/3Q (A)	2019/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	69 (101.4)	70 (100.4)	△1 (1.0)	△1.9
原子力 (設備利用率)	— (—)	△2 (—)	2 (—)	—
新エネルギー	3	0	3	516.7
合計	72	69	3	4.5

(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



2020年度 業績見通しの概要①

〈業績見通し〉(連結) 2020年10月30日公表の業績予想値から変更なし

電力需要(中部エリア)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響などから、前期に比べ△2%程度の減少と想定しております。
(前回公表から変更なし)

- 連結売上高 : 2兆8,000億円となる見込み
- 連結経常利益 : 1,450億円となる見込み (期ずれを除いた利益は、1,100億円程度となる見込み)

- ・ 売上高は、2016年度以来、4年ぶりの減収
- ・ 経常利益は、2018年度以来、2年ぶりの減益
- ・ 2016年度以来、4年ぶりの減収減益

(億円,%)

	今回公表 (A)	10/30公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	28,000	28,000	-	-
経常利益	1,450	1,450	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,150	1,150	-	-

[参考] 前期比較

(億円,%)

	今回公表 (A)	2019年度実績 (C)	増減	
			(A-C)	(A-C)/C
売上高	28,000	30,659	△2,650程度	△8.7
経常利益	1,450	1,918	△470程度	△24.4
親会社株主に帰属する当期純利益	1,150	1,634	△480程度	△29.7

2020年度 業績見通しの概要②

【主要諸元】

(販売電力量)

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	10/30公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,117	1,117	-	-
グループ合計の販売電力量	1,172	1,172	-	-

[参考] 前期比較

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	2019年度実績 (C)	増減	
			(A-C)	(A-C)/C
販売電力量	1,117	1,172	△55	△4.7
グループ合計の販売電力量	1,172	1,225	△53	△4.4

※ 2020年度は中部電力ミライズ、2019年度は販売カンパニーの値を記載しております。

※ グループ合計の販売電力量は、中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の値を記載しております。

(その他)

	今回公表	10/30公表	<参考> 2019年度実績
原油CIF価格 (\$/b)	42程度	42程度	68
為替レート (円/\$)	106程度	108程度	109
原子力利用率 (%)	—	—	—

Ⅱ 参考データ：決算・財務関連

連結収支比較表

(億円, %)

	2020/3Q (A)	2019/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益 (売上高)	21,125	22,807	△1,681	△7.4
持分法による投資利益	903	727	176	24.2
その他収益	57	88	△31	△35.7
営業外収益	960	816	144	17.7
経常収益	22,086	23,623	△1,537	△6.5
営業費用	20,005	21,772	△1,767	△8.1
営業外費用	166	197	△31	△15.8
経常費用	20,171	21,970	△1,798	△8.2
(営業利益)	(1,120)	(1,035)	(85)	(8.3)
経常利益	1,914	1,653	261	15.8
剰水準備金	—	—	—	—
特別利益	—	190	△190	—
法人税等	318	290	27	9.5
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	27	2	10.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,566	1,526	39	2.6

連結財政状態の概要

(億円)

	2020/12末 (A)	2020/3末 (B)	増減 (A-B)
資産	56,106	55,008	1,098
負債	35,336	35,387	△50
純資産	20,770	19,620	1,149

<主な増減理由>

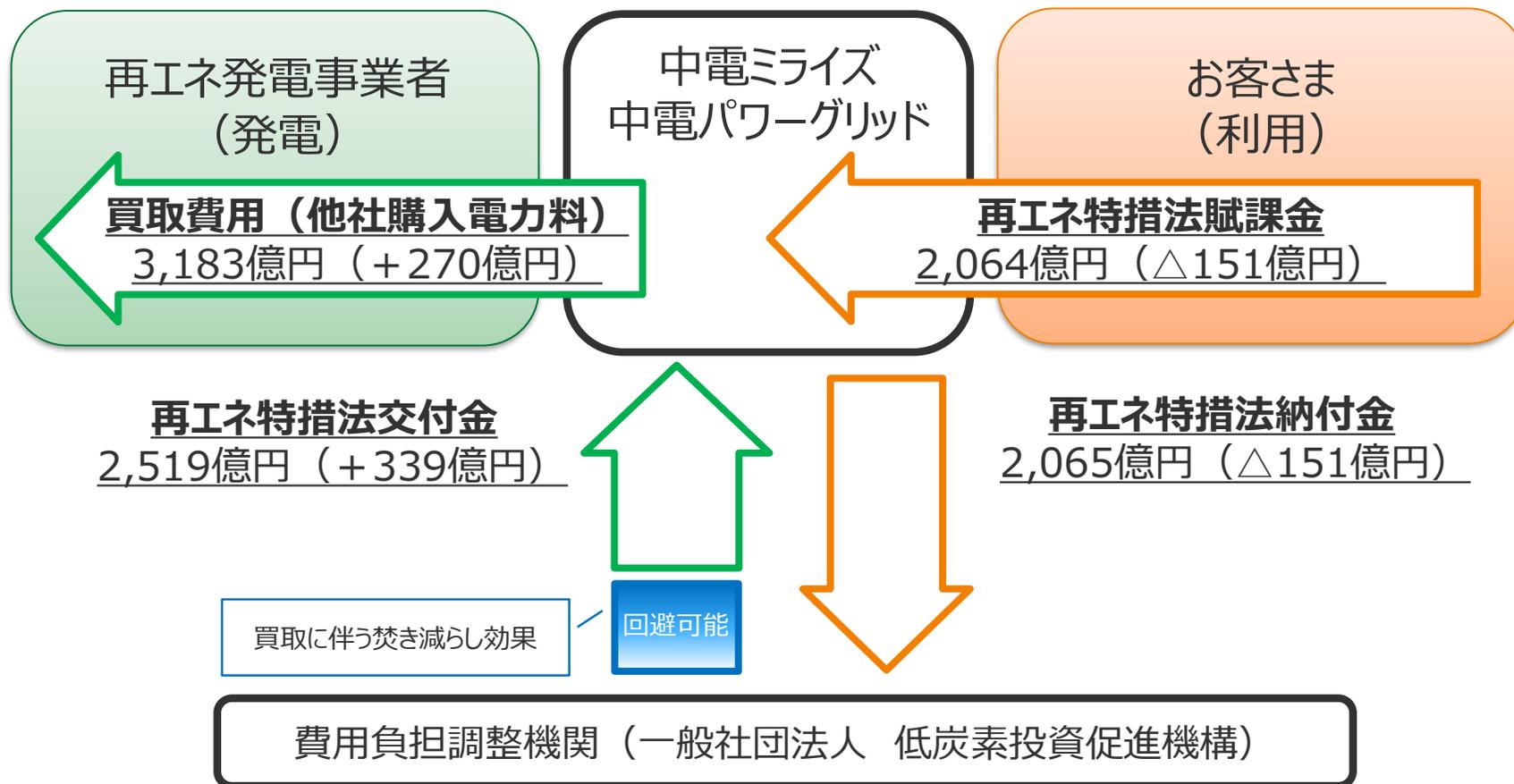
関係会社
長期投資の増 +712
(JERAの利益計上による
増加)

自己資本比率(%)	35.8	34.4	1.4
有利子負債残高	23,998	24,250	△251

コマーシャル・ペーパー
の減 △110

再生可能エネルギー - 固定価格買取制度における収支影響

<2020/3Q実績> ※ () 内は前年同期差



※再エネ特措法納付金については、2020年度より事業用電力等を含むため、再エネ特措法賦課金と一致しない。

本資料取扱上のご注意

本資料の業績見通しは、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。